

2025年9月24日
南海電気鉄道株式会社

観光列車「天空」 2026年3月20日に定期運行を終了します

- 団体専用列車として当面は不定期で運行予定
- 定期運行終了に伴うイベント等については随時お知らせ

南海電気鉄道株式会社(社長:岡嶋 信行)では、高野線の橋本駅～極楽橋駅間で運行している観光列車「天空(2200系車両)」の定期運行を、2026年3月20日(金・祝)をもって終了します。定期運行終了後は、旅行会社などを通じた団体専用列車として、当面の間、不定期で運行を継続する予定です。



天空(2200系車両)

天空は、2009年7月3日に定期運行を開始し、今年で16周年を迎えました。高野山へ向かって上へ上へとゆっくり進む列車旅を、車内を吹き抜ける森の冷氣や鳥の声などを五感で感じ、日常を忘れた時間を楽しんでいただくことを目的に誕生しました。定期運行開始以降、国内外から合計約430,000人(2025年8月末現在)のお客さまにご乗車いただきました。今後は、団体のお客さま専用列車として、当面の間、不定期での運行を予定しています。

定期運行終了にあたり、これまでのご愛顧に感謝の意を込めて、イベント等の実施を予定しています。詳細は決まり次第お知らせします。

なお、天空に代わる新たな観光列車は2025年度末の運行開始を予定しています。難波駅～極楽橋駅間を結び、列車の旅そのものが特別な体験となるよう、アテンダントによるきめ細やかな対応やお食事、良質なサービスの提供などを計画しています。

天空および新観光列車の詳細は別紙のとおりです。

以上

1. 天空について

2009年7月3日に定期運行を開始し、橋本駅～極楽橋駅間で運行してきました。現在は、平日は1日2往復を3日間、土・休日は1日3往復しています。

2200系2両編成で、指定座席数は2両合計76席。線路の北側・西側に広がる紀の川・不動谷川や険しい山間の風景を見渡すことができる「ワンビュー座席」や、4人掛けの「コンパートメント座席」、難波・橋本側の車両には森林の空気(外気)を取り入れる「展望デッキスペース」を備えています。



天空(2200系車両)

昨年度は約22,000人のお客さまに、定期運行開始以降は合計約430,000人(2025年8月末現在)のお客さまにご乗車いただきました。

定期運行終了後は、ツアー貸切りなど団体のお客さま専用列車として当面の間、不定期での運行を予定しています。



天空車内

2. 新観光列車について

天空に代わり、高級感あふれる新たな観光列車を、2025年度末に運行開始することを目指しています。2000系車両を改造した4両編成で、難波駅～極楽橋駅間を結びます。アテンダントによるきめ細やかな対応、お食事、良質なサービスの提供や四季折々に移ろう風景を通して、日常を離れた上質な空間で乗車そのものが特別な体験となる列車です。

※2025年5月15日報道発表「新たな観光列車を運行開始予定」:

https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/250515_1.pdf

2025年7月1日報道発表「『0番のりば(仮称)』から始まる、神聖な旅路」:

<https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/250701.pdf>

2025年8月8日報道発表「新観光列車名称のお客さま投票を開始します！

外観デザイン公開」:<https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/250808.pdf>



新観光列車外観イメージ

3. お問い合わせ先

南海電鉄コールセンター 050-3090-2608 (8:00~21:00)

※天空の運行ダイヤやご予約については、以下をご確認ください。

URL:<https://www.nankai.co.jp/koya/tenku/>